



SDGsは豊かな地球を守るため、って大きなテーマでなんだか難しい…  
けれどSDGsは経営課題を解決してくれる大切なキーワードなんです！  
近くの会社をのぞいて見れば、あれ、これもSDGsなんだ！  
小さなことでもまずはひとつ。SDGs、始めてみませんか？

エージーディーピー株式会社

“もったいない”を新たな価値に

12 つくも責任  
つかう責任



所在地 姫路市花田町小川252-1  
代表者 代表取締役 松森 榮次

社員数 12名  
TEL 079-280-3646

HP <https://www.agdp.jp/>

### ✓ 現場で感じていた“もったいない”という課題

当社は2004年にグラフィックデザイン事務所としてスタートし、「エンドユーザーが感動する店づくり」を理念に、商業施設の設計・建築・改装を手がけてきました。そうした現場の中で以前から感じていたのが、加工のたびに出る端材への「もったいない」という思いでした。これまでは処分するか、使い道のないまま保管するしかなかった素材を、何とか活かせなかと考え続けてきました。

### ✓ コロナ禍を転機に始まった新事業と端材活用

転機となったのはコロナ禍です。主力だった飲食店内装の仕事が大きく減る中、補助金を活用してレーザー加工機を導入し、新たな事業に踏み出しました。そこから生まれたのが、合板の端材を活用した木製タイル「モガナタイル」や「合板家具」です。モガナタイルは端材利用だけでなく、木工所から出る木材も活かして製造できるうえ、石材では重くて使いにくい場所でも木製なら施工しやすく、おしゃれな空間づくりにつながるのが特長です。加工時に切断ごみがほとんど出ない点も評価され、昨年には「ウッドデザイン賞2025」を受賞しました。

合板家具はスタイリッシュなデザインで、組み立て・分解ができ、省スペースで保管できる家具です。軽量で組み立ても簡単なため扱いやすいうえ、十分な耐久性を備えているのが特長で、イベントでの需要も高まっています。破損した場合でもパー

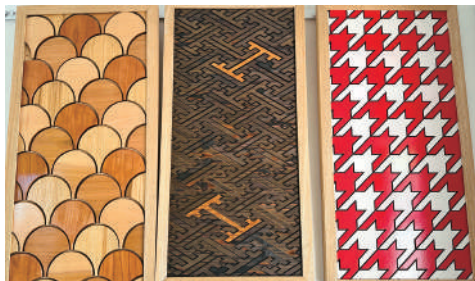
ツ単位で交換が可能で、使えなくなったパーツは「モガナタイル」の原料として再利用できます。こうした資源循環の仕組みも評価され、問い合わせや実績の増加、新たな仕事の創出につながっています。

### ✓ 姫路レザーとの連携で広がる新たな価値と社内の変化

木材の加工だけでなく、地元の皮革事業者と連携し、工場から出る革（レザー）の端材を活用して、アクセサリーなどの小物やノベルティへと加工する取り組みも進めています。幅広いサイズの加工に対応できるため、これまで見過ごされていた素材に新たな価値とストーリーを加えることができます。社内でもレーザー加工機を活用した試作品や製品のアイデア出しに従業員が関わるようになり、ものづくりの幅が広がりました。

### ✓ 小さな気づきから始まるSDGs

私たちは、ゴミと思っていたものでも見方を変えればまだ使える可能性があると考えています。ふとしたところにある「もしかしたら」を見つけ、考え続けることが、SDGsの第一歩ではないでしょうか。これからも、日々の中にある「もったいない」や「もしかしたら」を見逃さず、使われずに終わっていた素材に新たな価値を生み出すものづくりを続けていきたいと思っています。



モガナタイル



合板家具



姫路レザーを使ったアクセサリー